

会 議 概 要

会 議 の 名 称	第4回 湧別町庁舎等検討委員会
開 催 日 時	令和4年10月12日(水) 19時00分 開会 21時00分 閉会
開 催 場 所	文化センターTOM 研修室
出 席 者 名	委 員：岩佐委員長、高橋副委員長、長谷川委員、樋口委員、 竹部委員、野津委員、毛利委員、吉村委員、橋本委員、 楨委員 町 長：企画財政課 斉藤未来づくり担当課長、渡辺主幹 建設課 岩佐課長、宇佐美主幹 事務局：総務課 石塚課長、中川主幹、榎本主事
欠 席 者 名	なし
傍 聴 人 の 数	3名(その他報道機関2名)
会 議 の 内 容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 (1) 第3回 庁舎等検討委員会開催結果の確認 (2) 庁舎等集約化の検討 (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	別紙のとおり
会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備 考	

会 議 録

結果要旨

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 審 議

①第3回 庁舎等検討委員会開催結果の確認について（総務課・中川主幹）
前回委員会における協議内容及び配布資料について説明。

②庁舎等集約化の検討について（総務課・中川主幹）
比較検討表の修正点及び改修等にかかる概算費用について説明。

○修正点

・文化センターTOM

整備概要において、「庁舎機能、保健福祉センターを増築」を追加し、それに合わせて整備面積に庁舎等の増築部分を追加。

・中湧別小学校

整備面積について、既存の建物を最大限活用し増築費用を圧縮するため、増築面積を見直し。

○留意点

・整備費用は確定金額ではなく、現時点での概算金額である。

・外構工事、備品購入費は含まれていない。

・文化センターTOM

文化施設のため建物の装飾性が高いこと、現在の建築基準法に適合させるため大ホールの天井の改修が必要なことから、改修費用が高くなっている。

・中湧別小学校

改修・増築面積が上湧別庁舎より大きいため、上湧別庁舎の改修・増築費用より高くなっている。

【質疑等】

○上湧別庁舎の改修・増築案について、現状の敷地面積で増築の部分は足りるのか。

→事務局) 庁舎の正面（西側）にある庭、もしくは裏面（東側）にある職員駐車場の敷地の活用を検討することとなる。また、職員駐車場が不足した場合は、近隣に町有地があり、そこを職員駐車場として活用することができる。

○前回の会議で他の委員から、町民の減少とともに職員数は減少することから庁舎の集約にあたりそれらも加味した方がよいと意見があった。

令和元年第4回定例議会において、当時の町長は職員数の適正化計画に関する質問に対し、適正な管理を徹底し効率的な行政運営に取り組むと答弁した。その答弁の中で、本町職員1人あたりの住民数は、管内自治体の現状と比較したうえで、決して多くはないと言っていた。

適正な職員数は住民数で一概に判断することはできないが、一町民として、住民数が減るにも関わらず職員数が減らないのはいかななものかと思う。

2、3年後に庁舎を新築するのであれば、今いる職員全員が入るようにしなければならず、色々な工夫をする必要がある。例えば、年に数回しか使用しない専用の議場は必要なく、他の会議と併用できるようにするなどといった工夫は必要になってくると考える。

新築するには十分な面積の町有地があれば良いが、敷地を確保するために民有地を買収したり、未だ利用できる公共施設を壊したりしてまで新築することはないと考える。このことから、現在の選択肢の中では、中湧別小学校に増築しつつ不足する分は小学校を利活用するものが良いと考える。そうすることで、今後の職員の減少に応じて施設を有効に活用できる。

○道内自治体の庁舎等の基本方針を確認すると、利用者観点に立っていること、防災拠点の役割を果たすこと、機能性や経済性が加味されていること、環境に配慮されていることが概ね謳われている。

この委員会に対して、庁舎の集約化はどのように行われるのが良いのかと諮問されていることから、現庁舎を利用するのか、既存の公共施設を活用するのか、新築するのかということ協議し方向性を出すことで、庁舎の機能性や敷地面積などといった具体的な協議を行うことができるようになる。そのため、まずは方向性を出した方がよいと考える。

○庁舎の面積などの数字だけを見ても状況が思い浮かばない。実際に普段の職場として使用している職員の方々は、現在の庁舎をどのように感じているのか意見を聞きたい。

→事務局) お示ししている4,500㎡は、国交省などの基準を参考にして算出した面積であり、基準として考えている。ただ、他の自治体における職員数と庁舎の面積を鑑みると、現在示している面積より縮小することができるのではと感じている。

現在建築されている庁舎はこれまでの庁舎と違い、住民の待機スペースを必要最小限に留めたり、個人情報漏洩を防ぐため職員と町民のスペースを完全に分けたりすることで、面積を有効に活用した庁舎としている。

9月下旬に新築された大樹町の役場庁舎を見学したが、とてもコンパクトな造りとなっていた。

方向性が決まり具体的な内容を詰めていく際には、実際に利用している職員の意見や要望を募り反映することができれば良いと考える。

○職員数が減少した際に余剰となった施設を別の用途で活用することができること、グラウンドや今後取り壊しも検討されている福祉会館が周辺にあり有事に活用できる土地を確保できることから中湧別小学校の改築等の案が良いと考える。

庁舎の集約にあたっては庁舎がコンパクトで、職員が仕事をスムーズにできる様な造りであって欲しい。

○現在示されている4案の中で方向性を考えると、文化センターTOMは、改修費用が新築費用より高く、新築の方が庁舎の内部や場所を決めることができるため、候補から外しても良いと考える。また、文化センターTOMの駐車場は道路を挟んでいる点が少し不便だと感じる。

○4案の中で方向性を決めるとなると、新築する場合の場所がどこになるかが分からないと方向性を決めかねる。

○新築する場合、建設する敷地を確保するために用地取得の必要性が出てくると思う。ゆうゆう厚生クリニックの西側に町有地があり、町有地内に建っている老人憩いの家は築年数が経っているため、優先的に取り壊していくことになると思う。そうなると、相応の面積を確保することになり、なおかつ、近隣には文化センター、病院や金融機関があることから、私自身の考えとしては、新築する場合はそこが適地であると考えている。

○初回の委員会で庁舎に求めることとして、1つ目は防災の拠点となること、2つ目は町民のシンボルとなることと発言し、これらについては、現在も考えは変わっていない。

新築か改修かは、当初は新築8割であったが、各委員の意見を聞き、現在は6～7割となっている。新築は優位であるが、新築費用と改修費用に10億円程の差があり、合併推進債を活用しても7億円程の町の負担が発生するため、この費用分を他の事に活用できるのではないかと考える町民が一定数出てくると考える。その方々に新築であることを納得してもらうために何故改修ではなく新築かという議論を尽くす必要があると考える。

○今後の進め方としては、改修か新築かの他にどのような施設にするかといった議論もできたら良いと考える。

○帯広市に住んでいたことがあり、帯広市のまちづくりは良いなと思ったことがある。それは、帯広市役所は中心部から少し離れた場所にあり、広い駐車場がある。この駐車場は休日に開放されており、市内に用事のある方々が駐車できるようになっている。ただ、市内から少し離れていることで、市内にある有料駐車場に対して民業圧迫にならないように配慮されている。

市役所の庁舎は12階建てで11階を食堂と十勝平野を一望できる展望室として一般開放しており、市民や観光客に親しんでもらえるようにしてある。

また、市民のために大切なものは役所ではなく図書館であると考え、利便性の高い駅前市の市有地には図書館を建築した。

今回、庁舎を新築するのであれば、湧別平野を見渡せ町の成り立ちを感じることができるような工夫を取り入れたデザインにできたら良い。

○文化センターTOMの改修案は、改修費用が新築費用より高く、示されている4案の中で比較するとメリットに乏しいことから、案の中から外して良いと考える。

○中湧別小学校の活用については、築年数が45年となっており検討候補から外れる。現案では上湧別庁舎の改修か新築の2案のうちいずれかになるが、新築の場合は上湧別庁舎の改修より費用が高いという点、改修の場合は改修後の使用可能期間がどれぐらいになるかという点が気になる。

→事務局) 改修後の使用可能期間について業者に確認したところ、建物自体はすぐに使えなくなることはないが、数十年も使っていた場合、庁舎が使えなくなる前にその時代に適合した庁舎ではなくなるという回答であった。建物の寿命に対する明確な答えはなかった。

○上湧別庁舎の改修に係る費用は、既存庁舎の骨組等を活かした改修か。
→事務局) 活かした改修となる。

○文化センターTOMの改修費用が高額なのは、装飾性の高い建物だからか。
→事務局) その理由もあるが、ホールの天井が特定天井に分類され、一定程度の増改築をする場合は天井の改修を必ず行わなければならない、その改修費用が高額となっているため。

○中湧別小学校の増築面積が減少し改修面積が増加した理由は。

→事務局) 費用を抑えるため教室の活用部分を増やしたことで改修部分が増え、増築部分が減った。数十年後に増築棟のみの庁舎を残す場合、提示した面積では不足するため、増築庁舎の面積を増やさなければならない。そうすると費用が庁舎の新築に近づいていくこととなる。

○私は新築が良いと考えている。案で示されている庁舎等は既に築年数が経っており、建て替えが必要となった時には人口減少が進み、町の財政はどうなっているか分からない。今であれば財政的支援のある合併推進債を活用することができ条件的に有利である。

今新築せず、将来新築すると町民の負担がますます増えることとなる。また、庁舎も小さくなり、ゆくゆくは新築しておけば良かったと思うことになるだろう。

○これまでの会議を経て、今が庁舎を新築する良い機会だと考える。先ほど新築の場所の話が出ていたが、それ以前に、まずは既存庁舎を改修するのか、新築するのかの議論を尽くした方が良いと考える。

○前回の会議で委員の方から「利便性とは何か」という問いが出たが、それについて考えたところ、やはり「使いやすさ」ということだと考える。その「使いやすさ」を庁舎に当てはめると、周りにどのような施設があるのかという庁舎を取り巻く環境、利用者の動線が考えられた庁舎内における使いやすさ、そして、今後求められるユニバーサルデザインが考慮されているか。やはり職員以上に町民が使いやすい庁舎であること。

これから人口が減っていく中で、今後考えなければならないのはまちづくりをどうしていくかということ。その際、庁舎がとんでもない所にあり、今ある古い庁舎を何とか活用したところで、今後も町を継続していけるのか。バランスは必要だが、ある程度集約した地域づくりをしていかないとこの町の持続性や継続性がなくなっていく。

どうやって存続させていくか考え、やはり町民が使いやすい所に集約した方が良く、なおかつ使いやすい新しい庁舎が良いのかなと思う。

○町民が使いやすい庁舎とは何か。言いたいことは分かるが、町民がメインで使う訳ではない。

町づくりについて、例えば中湧別地区に新築するとして、上湧別地区や湧別地区はどうなるのか。庁舎新築による恩恵は無い。

○庁舎の場所について、地方自治法で使いやすい場所に建てなさいと謳われている。役場職員は町民のためなので、町民が使いやすいというのは集約された施設で、なおかつ窓口を移動するにしても、町民の動線を考えた造りであったり、車椅子が使える様なスロープがあったりだとか、そういう形が使いやすい利便性の高い庁舎と考える。

○費用をかける時はかけて良いものを造る方が良い。現状の施設を取り壊して新しい施設を作る方法も必要な一方で、共存させていくという方法も両方必要。

ただ、今は合併推進債を活用することができ、建築費用の全てを町が負担することにはならないので、できることなら使い勝手を良くできる新築にしたいが、引き続き皆様と協議して良い意見にまとめられればと考える。

○中湧別小学校は広い敷地があるため、取り壊し費用がかかるが、取り壊したうえで新築したら良いのではないか。

○先ほど大樹町役場の話がありましたが、大樹町内のどこ役場はあるのか。
→事務局) 国道沿いの高台にある。元々あった庁舎の目の前に新築した。

町自体は海に面しているが、庁舎から海までは距離があるため津波の心配はない。ただ、町内に川が流れており氾濫する危険性があるため海拔 38 メートルの高台に建築している。庁舎の近隣に文化センターや学校、プールがある。

庁舎は ZEB Ready 仕様で、建設時に国の補助金を活用している。同じ補助を受けようとしても、その補助事業の期限が令和 5 年度までとなっている。

○新築に向けた議論とともに上湧別庁舎の改修案の議論も行い比較検討し方向性を出していった方が良い。

【休 憩】

これまでの議論を踏まえ、提示されている 4 案のうち文化センター TOM の改修案は、各委員同意のもと案から外すこととなった。

【上湧別庁舎の改修案について】

○駐車場は足りるのか。

→事務局) 来客用の駐車場は足りるが、職員及び公用車の駐車場は不足が見込まれるため、近隣の町有地を活用し不足の解消に努めることとなる。

○上湧別屯田市街地 328 番地（上湧別団地及び職員住宅）は古そうだが、将来的に取り壊す予定はないのか。

→事務局) 現時点で取り壊す予定はない。

○公用車の車庫は全て使っているか。

→事務局) 物置として使用している所もあるが、全て使用している。

○車庫と職員用駐車場の面積が概ね一緒に敷地を有効活用できていないように感じる。セキュリティの問題もあるが車庫ではなくカーポートにしては。

→事務局) 実際にカーポートにしている自治体はあるが、積雪量やセキュリティの面で難しい。

○既存庁舎を活用しつつ増築するとなると、以前の資料で提示された維持費4,000万円はかかってくるということか。

→事務局) 令和2年度はコミュニティセンターの大規模改修があったことからこの年だけ高くなっている。通常であれば2,000万円程度の維持費がかかる。

○設備は色々と寿命が来ると思うが。

→事務局) 庁舎に2機あるボイラーのうち1機は今年入れ替えた。今後、2機目の入れ替えも検討していくことになるが、ボイラーの機能によっては、同規模のボイラーにしなくても良いかもしれない。その他、電話交換機やエレベーターなどを入れ替える必要がある。

○庁舎を新築する際の候補地は決まっているか。

→事務局) まだ決まっていない。

○先ほど出た質問と被るが、上湧別庁舎に勤務する職員からすると、不便なところはるか。

→事務局) まず、夏場に室温が高い。要因は、執務室に冷房機がないこと、そして庁舎が南北に長い構造となっており、日差しの当たる面積が大きいため。

今回、業務委託をした業者から、本州は気温が高いため南北に長い庁舎は建てないと言われた。

一方、冬場は室温が低い。庁舎に吹き抜けがあるため温かい空気が上昇してしまい室温が上がりにくくなっている。

続いて、インターネットの環境が悪い。要因は不明だが、仕事中にインターネットが止まることが往々にしてある。

○雨漏りやひび割れが生じている所はあるか。

→事務局) 数年前に外壁が剥離したため外壁の修繕を行なっている。また、庁舎屋上の排煙口のコーキングが劣化したため修繕している。外見はまだ年数が経っていない様に見えるが、経年劣化は設備を含めて所々生じている。

○町民の利便性が重要であることは先ほどから申し上げているが、合併して、湧別地区、中湧別地区、上湧別地区を考えると、庁舎が上湧別地区にあるというのが今後の集約に向けてどうなのかなと思っている。

町の総合計画の目指すべき将来の方向性の中に「誰もが安心して暮らし続けることのできる魅力的な生活環境の確保」と謳っているので、やはりそれに近づいていかなければならなく、町の中心的な所に新築した方が良いと思っており、上湧別庁舎はご苦労様でしたが良いように感じる。

○駐車場への入口と1台あたりの駐車スペースが狭く改善が必要。このため、現状の駐車可能台数は50台程度だが、駐車スペースを広くすると40台程度になるのではないか。

○これまでの意見を聞くと上湧別庁舎の改修案は検討案から外しても良いのではないか。

○上湧別庁舎はあくまで改修案の中では有力な案である。今回出てきた問題点はあくまで現状であり、上湧別庁舎を活用する際は改修することとなる。

新築であっても使い始めたら問題点はでてくるため、新築だから良いとなる訳ではない。

やはり改修費用と新築費用には10億円の差があるため、改修の方が良いと考える方々に納得してもらうには、まだ外すには早いのではないか。

○改修費の中には問題点を改修する費用は含まれているか。

→含まれている。

○中湧別小学校の改修案について、上湧別地区義務教育学校の開校が条件になると思うが、合併推進債の利用期限までに間に合うのか。

→義務教育学校の開校は令和6年度を目指している。合併推進債は令和6年度中に実施設計の契約を行えば活用することができる。

※上湧別庁舎の改修案に係る判断は次回委員会に持ち越し。

③その他

次回会議日程については、後日調整することとした。また、会議の開催場所は上湧別コミュニティセンターで開催することとした。

(4) 閉 会